

# 「技術伝承問題対策」研究会活動

(本件は終了)

技術・技能伝承問題対策研究会委員：(申し込み順)

- 1, 山形スリーエム(株)様 2名
- 2, (株)堀場製作所様 1名
- 3, ヤマハメタニクス(株)様 2名  
オリンパス(株)様 1名
- 5, コカ・コーライーストジャパン(株)様 2名
- 6, 文化シャッター(株)(福岡工場)様 1名(代理1名を除く)
- 7, (株)トヨタケーラム様 3名
- 8, JMA

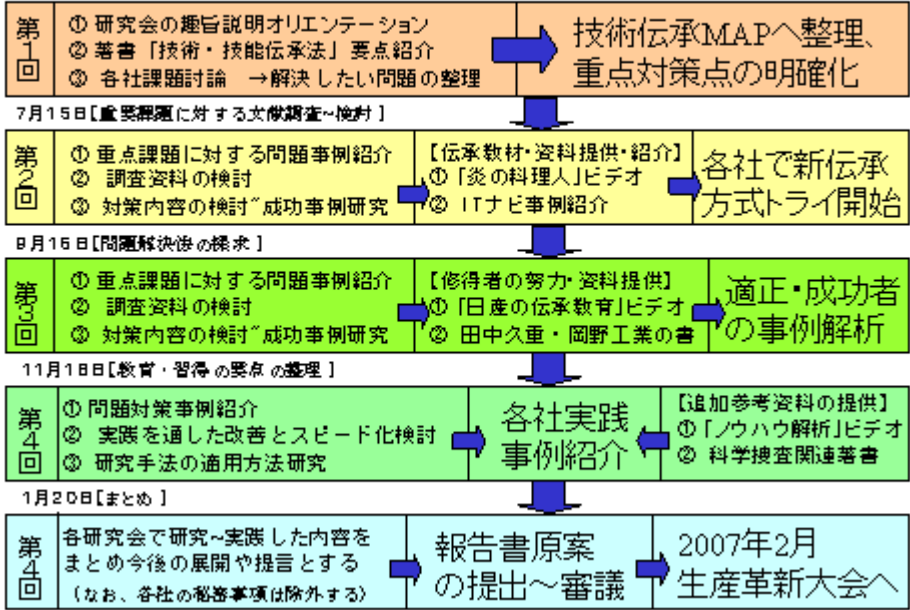
(個人情報保護の関係で参加メンバーの部署、氏名は省略させていただきます)



## 1, 全体の活動

# G-研究会推進ステップと求めるアウトプット(予定)

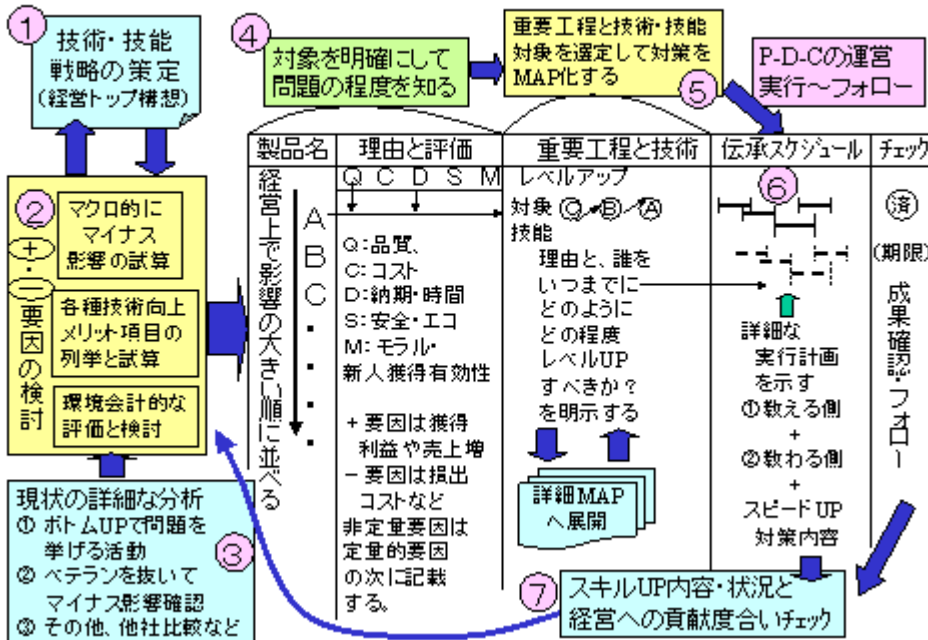
6月17日【状況把握】事前配布資料「技術・技能伝承術」並びに、CD-Rom+各社の技術伝承教育体系(文庫)提供



## 2. 第1回技術・技能伝承戦略MAPへ織り込む要素

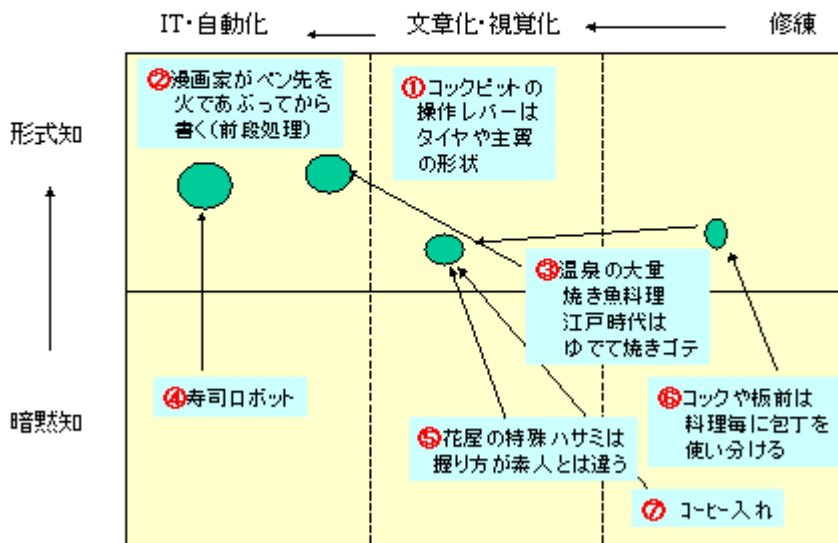
研究会で検討した戦略的展開の要素（イメージ図）①～⑦の事項の見える化を進めることをお奨めします（ガイドとして）

### G-研 第1回検討会で得たチェックポイントのイメージ



3. 各社テーマの分析：第2回研究会はこの図を用いて、具体的な対策を進めた。

## 分析例: 匠の技術の解析より ノウハウがノウ・ホアイ化した例の分析



### 3. IT活用を含めた、技術・技能伝承ツールの紹介と検討 (第2回G-研の要点: 終了)

#### ① NHKプロジェクトX「炎の料理人」を解析～討論

レシピを標準化して活用した故・村上料理長の活躍から標準化のあり方と活用の要点を整理した。

② トヨタケーラム社製の「指南車」というITシステム活用による内容と事例の紹介を含め、技術・技能伝承に関する教育のスピード化を検討した。

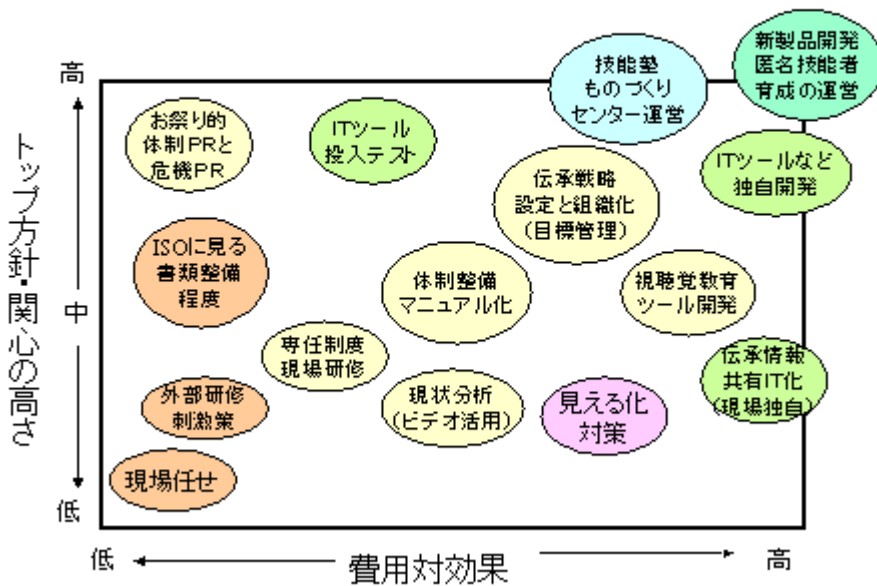
#### ③ 今後、各種教育方法を整理して、問題対策とスピード化の

検討を進め、スピード教育に関する内容とツールは第4回で更につめる予定。

IT他、各種の教育ツールは下記ようになります。技術伝承は修得する側の

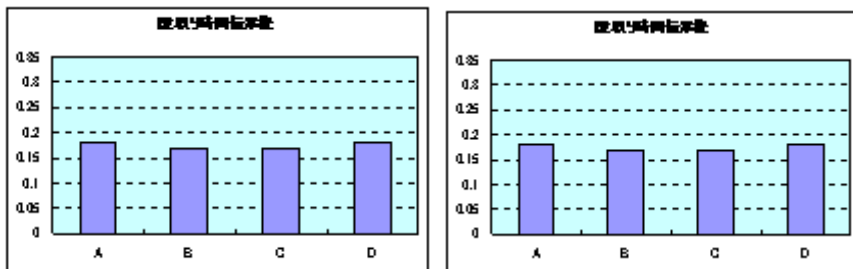
努力があって、伝承者の教育法が検討されるべき位置づけがあります。これらの内容を今後つめる中で、下の図の解析を進めた。

## 各種技術伝承対策の位置づけと評価(案)



第4回は各社が技術伝承教育を効果的に行ってきた事例を紹介  
大変参考になる内容だった。やはり、問題点だけでなく、良い点を  
紹介願うと、泥臭いが実務的な内容ばかりだった。特に、教育  
アウトプットを決めた期間短縮短縮事例は参考になる例があった。

### 過去の時間 対策後（ノウハウ交換後の時間）



第4回で重要点と共に、G-研がテーマとした内容は全て討論済みとなったため  
次回は報告書にまとめ、内容の見直しを図ることとなった。また、この結果は  
生産革新大会は2007年の2月22日で報告した。

#### 1. 研究会発足の目的：

今日まで「技術伝承」問題に対し、各種の調査研究を進めてきたが、その種内容の見直し  
と共に、各社が実際に抱えておられる問題を相互討論し、JMAで蓄積してきた問題解決手法  
の適用を含め問題解決法を探求する目的で、課題を設け、異業種交流の形で具体策を創出  
対策の実践を図り、産業界に役立つ内容にまとめる努力を図る。

2. 活動期間：2006年6月より1日×5回（締め切りは2006年3月末に終了）

3. 開催に関すること：開催地は東京 1日×5回10:00～17:00を予定

主催と幹事：(社)日本能率協会 専任講師 中村 茂弘（ご連絡・お問い

合わせは、s\_nakamura@mtc.biglobe.ne.jp 移動中のメールへお願い致します。

#### 4, 活動日程

回	日程 (全て土曜)	実施事項	項目
1	2006年6月17日 終了	状況把握	①研究会の主旨とオリエンテーション ②著書「技術・技能伝承法」要点紹介 ③各社課題の紹介~グループ分け・討論
2	同年7月15日 終了	重要課題に対する 文献調査~検討	①重点課題に対する問題事例紹介 ②調査資料の検討 ③対策内容の検討~成功事例研究
3	同年9月16日 終了	問題解決法の探求	①成功事例解析を通じた良い点抽出 ②問題解決の手法化検討 ③トライアル課題の整理
4	同年11月18日 終了	教育・習得の要点の整理	①問題対策事例紹介 ②実践を通じた改善とスピード化検討 ③研究手法の適用方法研究
5	2007年1月20日	まとめ	各研究会で研究~実践した内容をまとめ今後の展開や提言とする(但し、各社の秘密事項は除外する)

#### 5, 期待するアウトプット(狙い):

(1) 各種、技術伝承課題に対する実践的な問題解決方法を提示する。

例: ①技術・技能習得戦略の進め方

②不良・クレーム対策手法の紹介~検討・評価など

③技術・技能早期習得法の要点

(2) 第2回目からグループ毎に宿題を検討し、各種研究を行い、その結論に応じて試行を進め、その結果を相互討論し、更なる改良へつなげる。

本研究会で得られた優秀な内容や事例集にまとめ産業界に公開、発表する活動をする。